

6 都市基交第 1664 号

令和 6 年 12 月 26 日

国土交通省航空局長

平 岡 成 哲 様

東京都都市整備局長

谷 崎 馨 一

(公 印 省 略)

新飛行経路の固定化回避に関する検討の継続について（要請）

羽田新飛行経路については、国の責任と判断で決定し、令和 2 年 3 月に運用を開始された後、貴省において、関係自治体等からの要望などを踏まえ、同年 6 月に「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」を設立しました。

検討会では、現在の滑走路の使い方を前提とした上で、騒音軽減等の観点から見直しが可能な方策について検討が重ねられておりますが、先日の第 6 回検討会では、引き続き、調査・研究を実施する等、固定化回避に向けた努力を継続するとのことでした。

これに対し、一部の区からは、地元の声を受け止め、区民の負担軽減につながる具体的な方策の提示とその実施を求める声があがっています。

貴省におかれましては、こうした地元の声を受け止め、これまでの検討の経緯や今後の方針について、説明責任を果たしていただくとともに、今後も適切に検討を進めていかれるよう要請いたします。

あわせて、引き続き、都民の理解が更に深まるよう、丁寧な情報提供と騒音、安全対策の着実な実施に取り組んでいただくことを求めます。